



2012年のテーマは、
☆ 「3と97の生き方」です。

さらにとんでもないことだと感じるのは、子ども手当、高校授業料の無料化などのお金のばらまきです。政治・行政はこれが少子化対策と言いますが、おカネをあげたからといって子供が増えますか。増えるどころか、逆に家庭内が壊れていっています。親が自分だけ食べて、子供を餓死させるといった事件までもが起きています。こんなこと、一昔前ならあり得ないことです。

国からお金をもらうから大事に子供を育てなくなる。なぜでしょうか。最後は国が社会が面倒みてくれると親が思うからです。「赤ちゃんポスト」なんていうのもありますね。昔の親たちは、自分達は食べるのを我慢して子供には食べさせたものです。子供はそういう親の愛情を感じるから、人としてのココロが育つのです。

人として、親として当たり前のことすら、今の日本人にはなくなってしまいました。

「人の道」からみれば、本当におかしなことだらけですが、皆さんはどう感じておられますか。

「おかしい」ことは、きちんと「おかしい」と言わなければなりません。そして、言ったことは行動することです。今年は天明から始めようと思います。

自然（宇宙）を感じ、学び、共存する

今、公共工事でやっていることは、すなわち、我々が生きて行く「生態系」を壊しているにすぎません。自分でこの地球に住めないようにしているのです。

聞けば、「100年大丈夫」で作ったダムがどんどん使えなくなっているそうです。それは、堆積物がどんどん底にたまって貯水量が落ちているからです。なぜそんなことが起きたのでしょうか。それは、森林を壊してきたからです。昨年タイで大洪水が起きました。首都バンコクの王宮近くまで水が押し寄せ、日本の工場なども一時閉鎖に追い込まれた大災害でしたが、この原因も森林伐採にあると指摘されています。

ダムを作るより、森林を手入れし、自然ダム(山)を復活させるようにすべきです。

「おかしい」と思うのは、「100年大丈夫で作ったダムがたった10年、20年でこの堆積物で使えなくなっている」こと、「その堆積物を捨てる場所がない」ことを政治家さん、役人さんが知らないはずなのに、ダムを作れ、作れとしか言わないことです。

それでも、なぜダムを作るのか。

みなさんはもうわかっていますね。自分たちの利権のためです。「国民のため」と言うのは、ウソです。

10年、20年経ってダムが使えなくなる頃には、「ダムを作れ、作れ」と言った人たちはすでに退職などでいません。その人たちが「今さえよければそれでいい」でやっているから、私は許せないのです。このしりぬぐいをさせられるのは、全部、私たち国民です。国民のカネで作って、問題があれば国民のカネが使われる。政治家さん、役人さんは「国のおカネ」と言いますが、国のおカネではなく、「国民のおカネ」です。どうもこのことがわかっていない人たちが多すぎます。

そしてこれはおカネだけの問題ではありません。先ほど言ったように、ダムを作ることは自然を壊しているということをお忘れはいけません。



自然災害は、我々人間に対して自然が発した警告のように思えてなりません。ですから、天からの災い、天災と言うのでしょうか。東日本大震災もそうでしょう。

人間が自分の都合がいいように自然を壊し、生態系を壊してきたことへの自然の怒り、メッセージとして受け取るべきです。

ゆえに、いままでと同じことをしてはいけないのです。

かつての日本人は、自然から学び、自然を感じとり、自然と共存して生きて来ました。縄文の昔から江戸時代までがそうだったと言ってもいいと思います。



特に縄文時代には、日本人の原点があります。少し振り返ってみましょう。

1. 縄文時代は、1万年以上にわたって争い事がなかった

これは、日本人の「和の精神」ですね。争い、戦いを好まない人が多いというのも、この時からの遺伝子を持っているからなのでしょう。

2. 縄文時代の人たちは、何もかも自分でやった

家を作ることから狩りをする事まで、上手下手はあるでしょうが、全部自分でやらねばなりませんでした。そこから「助け合う」という精神が生まれました。今は分業化、専門化していて、そういった職業ばかりになってしまいました。それだけに全体像をみれる人が少なくなりました。

3. 縄文時代の人たちは、自然のなかで生かされていると感じて生きていた

「モノを大切に」「もったいない」「ありがとう」という精神がここから生まれました。

今の私たちの生活を考えてみてください。

「真逆」の生活をしていませんか。

何かあれば、国に頼る。やってくれなければ文句を言う。

ちょっと不便になったで不満を言う。

こんなことを挙げればきりがありませんね。

これからはもっと我慢しなければなりません。

「ない」「ない」「欲しい」「くれ」と文句、不満を言うよりも、家庭内でできることから始めましょう。たとえば、電力。電力会社に頼るのではなく、太陽光などの設備をしていくとか。夏場なら、「打ち水」をするとか。

水も、生活用水なら雨水で十分です（飲料水は別ですよ）。雨水を溜めて、それを生活用水にするといった仕組みを作ればいいのです。地熱や太陽光で温めれば、お風呂にも入れます。雨を川に流すのではなく、溜めて、家庭内で循環させる。こうしたことを個別の家がどんどんやっていけば、新たな事業を生むとともに、私たちの生活も自然にやさしい生活になっていくことができるのではないのでしょうか。

「21世紀は水戦争が起きる」と、10年前から言ってきました。世界的な水不足から、水を奪い合うようなことがすぐそこまでやってきています。そんな状況がやってきてからでは遅いのです。もう根本から考え方を改めて行かねばならない時がきていると思いますよ。

本物のエコライフ、自然と共存する生活・生き方に変えて行くべきです。



2012年は何があってもおかしくない年です。その出来事を「まさか」や「想定外」のことにしてしまわないためにも、いまのうちから自分ができることをしておくことです。これが、「3と97で生きる」ということにつながってきます。

3とは「見える世界」、97とは「見えない世界」であるとお伝えしてきました。私がこう表現するまでもなく、これまでの日本人はこの2つの世界を意識して生きて来ましたが、残念ながら、今はそうなっていません。「もっともっと」「さらにさらに」でまだやろうとしています。

いい加減、人はこの自然、宇宙の中で生かされている存在にすぎないのだということに気付くべきです。その時が来ています。気付かなければ、気付くまでいろんなことが起きるでしょう。それもまた自然、宇宙のはからいだからです。

日本人は、自然を敬い、自然のおかげで生かされて頂いていることを感じて生きていた縄文人の遺伝子を持っている民族です。

ここでもう一度、この遺伝子を呼び醒ましましょう。

そのために天明は行動を起こします。「3と97」を通じて、縄文人の生き方を伝えて参ります。

1つの目標として、国連の場で、天明の「いのち」の話をしたいと思っています。皆様のご支援を賜って、「ココロの時代」がやってきたことを日本人から発信していきたいと思っております。

2012年に入るや否や、元旦から長野の「縄文時代」に行き、そして、九州の「弥生時代」に行ってきました

2012年に入り、1月1日・2日、9日から11日で、日本人のルーツをたずねてきました。

1. 2日

縄文人が初めて定住した村を作った長野蓼科に行きました。そこにある「縄文天然温泉・志楽の湯」は、サルフェートを世界一含み、マイナスイオンとプラスイオンのバランスがとれた芸術的源泉で、飲用すると、胆石症、痛風など効果があり湯当たりしない温泉でした。竜神湖でのおもしろいことや効能についてはブログをどうぞ拝見してください。

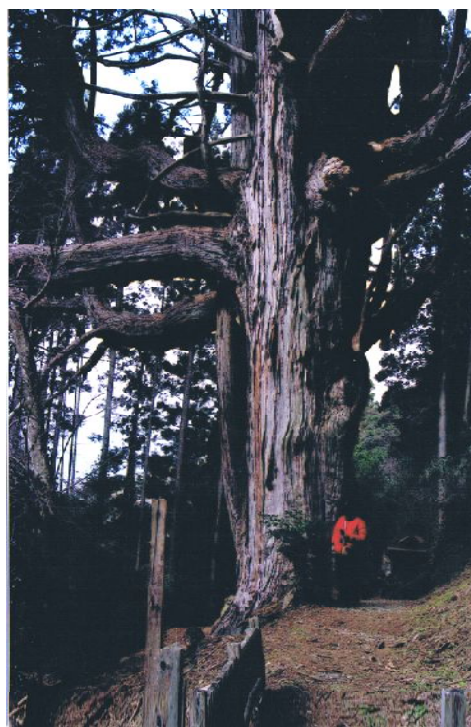
9日

弥生時代の吉野ヶ里遺跡(佐賀県)は、村から国となり、戦いのあとがありました。

10日から11日

阿蘇から高千穂へ、椎葉で大久保のひのきに行く途中から霊が来て、大木の前で立ってられず……。詳しくは、ブログで。

きちんと写っていた写真はたった1枚で、後は赤く写っていました。



立ちはだかる敵を寄せ付けない大木。胸苦しくなり…。詳しくはブログに書きます。

※サルフェートとは

デトックス(解毒)効果が「大」で、高い利尿作用があり、体内や血液中の老廃物を体外に排泄し、代謝を高める働きのことです。



吉野ヶ里南内郭

天明ブログをご覧ください。

<http://www.tenmei-keyaki.net/>

【高千穂峡と高千穂夜神楽】

阿蘇山(当時7000メートル)が火山活動によって、約12万年前と約9万年前の2回噴火した時、溶岩が飛んできて、この高千穂峡ができました。高千穂夜神楽は、国の無形重要文化財で、1～33番まであります。1～32番をあの手この手で舞うが、出て来られない33番の天鈿女命(あめのうずめのみこと)と手力男命(てぢからをのみこと)の舞いをみて、みんながおかしく笑うので、天照大御神(あまてらすおおみかみ)が天岩戸を開いて出て来られ、日本国の誕生となります。

長野県の戸隠神社は、宮崎県の高千穂から天照大御神が隠れたと言われる 天の岩戸の扉が吹っ飛んできてできたと言われる場所です。



夫婦むつまじく 33番の舞い

高千穂峡は、神秘的で、
観ていると吸い込まれそうになります



天明・活動報告

2011年9月～2011年12月

9月 1日 天明講演会
4日 内山氏のコンサートへ
5日 手足マッサージ
8日 増富へガイアシンフォニー
9日 パソコン
10日 みずがき山登山ツアー・散策ツアー(～11日)
13日 美し国セミナー
15日 月刊日本15周年パーティー
17日 水是(株)講演(テラオス水)
21日 台風
22日 水是(株)川原社長と面談 息吹の会
24日 時代おくれ
26日 新橋演舞場へ
28日 鹿児島へ 水是(株)川原一家と
29日 鎮國寺へ
30日 増富へ 安保徹教授と

(操法) 4日、6日、7日、12日、15日、17日、18日、
20日、23日、25日、27日

(出張操法) 2日板橋・順天堂、9日板橋

10月 1日 増富温泉にて 安保徹教授講演会
みずがき山自然公園散策(～3日)
5日 手足マッサージ
6日 天明講演会
7日 パソコンへ
9日 孫の「七五三祝い」

10月 13日 縄文塾へ
14日 パソコンへ
19日 宮崎へ(～21日)
22日 時代おくれへ
23日 水是(株)川原氏面談
24日 赤坂へ 濱田社長へ
25日 水道工事(111.U15)
28日 パソコンへ
志士経営者倶楽部へ
29日 縄文シンポジウムへ
30日 船堀へ 呼吸法セミナー

(操法) 4日、5日、7日、8日、11日、12日、13日、
15日、16日、17日、18日、26日、29日、
31日

(出張操法) 7日板橋、14日板橋、28日板橋

11月 1日 山形へ
3日 天明講演会
ゲスト、水是(株)川原茂社長
4日 水是(株)川原社長と濱田氏へ
11日 多治見へ
12日 中津川・南木曾定期講演
ゲスト、水是(株)川原茂社長
つばき苑 ボランティアへ

11月15日 柳瀬会長へ
 16日 東郷神社江見塾にて いのち講演
 17日 17クラブへ
 18日 ステラへ
 19日 縄文文化講演
 21日 息吹の会
 22日 手足マッサージ
 ステラへ
 24日 東京湾ディナークルーズに招待される
 オーストラリア人5人、池田夫妻、川腰さんと
 26日 池田氏 長谷川さんとトーフ屋へ

(操法) 3日、5日、7日、8日、9日、10日、15日、17日、
 20日、21日、22日、24日、28日、29日、30日
 (出張操法) 4日板橋、18日板橋、25日板橋

12月 1日 天明講演会
 2日 パソコンへ
 3日 アデレードへ 池田氏帰国
 ゴスペルへ
 5日 盛岡へ(～6日)
 8日 縄文塾へ
 15日 パソコンへ
 志士経営者倶楽部講演会
 17日 17クラブへ
 19日 みつげん忘年会に招待
 20日 長崎 水是(樹)講演会 忘年会(～21日)
 22日 加瀬氏 B/Dへ
 23日 柳平氏にタカノで接見
 ウインウインクラブへ
 26日 アーユルベーターへ

(操法) 1日、3日、4日、7日、8日、10日、11日、
 12日、13日、14日、16日、17日、18日、
 19日、21日、22日、23日、29日、31日
 (出張操法) 2日板橋、5. 6日盛岡、9日板橋、16日板橋

会員さんの声 おめでとう！

出産 2011年 9月 8日 松浦順三夫妻 斗頼君

会員さんの声 おくやみ申し上げます。ごくろうさまでした。

2011年 9月 8日 日下洋子さん 11月22日 灘吉利晃氏



2012年 天明 講演会 2012年は毎月第2木曜日に変更になります

2月 9日(木) 381回 ことばにそくばくされ支配される、身・口・意(しんくい)の業

3月 8日(木) 382回 実の如く自心を知る

4月12日(木) 383回 小さな「ありがとう」をくり返し行動する

5月10日(木) 384回 自分の心と向き合い本当に大切なもので心を豊かにする

6月14日(木) 385回 決してあきらめず、
 自ら未来を良くしていこうと努力すること

7月12日(木) 386回 自分の心を真実ありのまま知る(さとり)

講演終了後は
 懇親会も行っております。
 ぜひご参加ください。

ホームページから
 参加申し込みができます

18:15受付開始 18:30-20:00終了予定

会場/明治記念館 東京都港区元赤坂2-2-23
 TEL03-3403-1171

アクセス

・JR中央線・総武線【信濃町駅】下車、徒歩3分
 ・地下鉄 銀座線・半蔵門線・大江戸線
 【青山一丁目駅】下車(2番出口)、徒歩6分
 ・地下鉄 大江戸線【国立競技場駅】下車(A1出口)徒歩6分